

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市障害者福祉施設春光園(けやき、うえみず)
(2)施設概要	<p>①所在地 春光園けやき:さいたま市見沼区宮ヶ谷塔1-280 春光園うえみず:さいたま市西区佐知川299-16</p> <p>②施設の設置目的 生活介護事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。 自立訓練事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、原則2年間にわたり生活能力の維持、向上等のために必要な支援、訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。 相談支援事業は、障害者(児)及びその家族に対して、それぞれが抱える問題や課題を確認し、各関係機関との連携を図り、適切なサービスを受けることができるよう利用計画を作成し継続した状況把握を行う。</p> <p>③施設の概要 事業指定年月 平成18年10月 敷地面積 けやき:9,146.00㎡ うえみず:1,072.70㎡ 延床面積 けやき:2,014.50㎡ うえみず:286.52㎡ 構造 けやき:鉄筋コンクリート造平屋建 うえみず:軽量鉄骨造平屋建 事業内容 けやき:生活介護事業(定員77人) 自立訓練(生活訓練)事業(定員10人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) うえみず:生活介護事業(定員20人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度181,186千円、令和5年度181,186千円、令和6年度181,186千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>&lt;春光園けやき生活介護事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延利用者数 14,737人(前年度 15,088人)</li> <li>・平均利用者数 59.4人(前年度 61.1人)</li> <li>・稼働率 77.2%(前年度 79.3%)</li> </ul> <p>&lt;春光園けやき自立訓練事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延利用者数 337人(前年度 222人)</li> <li>・平均利用者数 1.4人(前年度 0.9人)</li> <li>・稼働率13.6%(前年度9.0%)</li> </ul> <p>&lt;春光園けやき相談支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 142人(前年度 122人)</li> </ul> <p>&lt;春光園うえみず生活介護事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延利用者数 3,255人(前年度 3,666人)</li> <li>・平均利用者数 13.1人(前年度 15.1人)</li> <li>・稼働率 65.4%(前年度 75.4%)</li> </ul> <p>&lt;春光園うえみず相談支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 51人(前年度 44人)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開所日数 けやき:248日 うえみず:249日</li> <li>・園外活動 ・自主製品生産 ・受注作業</li> </ul>

(5)施設の管理運営の内容	<p>②維持管理業務の状況 (けやき) ・消防設備保守点検業務・空調設備保守点検業務・自動給水ポンプユニット保守点検業務・自家用電気工作物保安管理業務・汚水処理施設保守点検業務・害虫駆除防除業務・清掃等管理業務・機械警備業務・受水槽法定点検・塵芥収集運搬処理業務・公共建築設備等点検業務・厨房二層シンク修繕・トイレ漏水修繕・消防設備不備修繕</p> <p>(うえみず) ・機械警備業務・消防設備保守点検業務・清掃業務・植木剪定業務 ・空調設備保守点検業務①運営業務の状況(利用状況含む)</p>																																										
(6)収支状況	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・障害福祉サービス等事業収入</td> <td>283,016千円</td> <td>(前年度 232,620千円)</td> </tr> <tr> <td>・指定管理料収入</td> <td>181,186千円</td> <td>(前年度 181,186千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>7,811千円</td> <td>(前年度 6,653千円)</td> </tr> <tr> <td>・人件費積立資産取崩収入</td> <td></td> <td>(前年度 26,825千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>296,366千円</td> <td>(前年度 301,154千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>8,703千円</td> <td>(前年度 9,063千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>80,308千円</td> <td>(前年度 78,818千円)</td> </tr> <tr> <td>・事業費</td> <td>13,699千円</td> <td>(前年度 14,887千円)</td> </tr> <tr> <td>・繰入金支出</td> <td>33,565千円</td> <td>(前年度 33,565千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>3,951千円</td> <td>(前年度 7,953千円)</td> </tr> <tr> <td>・本部追加繰入金</td> <td>32,760千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>【自主事業】</p> <p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>前期末支払資金残高取崩</td> <td>1,097千円</td> <td>(前年度 1,157千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(前年度 50千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>1,062千円</td> <td>(前年度 1,207千円)</td> </tr> </table>	・障害福祉サービス等事業収入	283,016千円	(前年度 232,620千円)	・指定管理料収入	181,186千円	(前年度 181,186千円)	・その他	7,811千円	(前年度 6,653千円)	・人件費積立資産取崩収入		(前年度 26,825千円)	・人件費	296,366千円	(前年度 301,154千円)	・事務費	8,703千円	(前年度 9,063千円)	・施設管理費	80,308千円	(前年度 78,818千円)	・事業費	13,699千円	(前年度 14,887千円)	・繰入金支出	33,565千円	(前年度 33,565千円)	・その他	3,951千円	(前年度 7,953千円)	・本部追加繰入金	32,760千円		前期末支払資金残高取崩	1,097千円	(前年度 1,157千円)			(前年度 50千円)		1,062千円	(前年度 1,207千円)
・障害福祉サービス等事業収入	283,016千円	(前年度 232,620千円)																																									
・指定管理料収入	181,186千円	(前年度 181,186千円)																																									
・その他	7,811千円	(前年度 6,653千円)																																									
・人件費積立資産取崩収入		(前年度 26,825千円)																																									
・人件費	296,366千円	(前年度 301,154千円)																																									
・事務費	8,703千円	(前年度 9,063千円)																																									
・施設管理費	80,308千円	(前年度 78,818千円)																																									
・事業費	13,699千円	(前年度 14,887千円)																																									
・繰入金支出	33,565千円	(前年度 33,565千円)																																									
・その他	3,951千円	(前年度 7,953千円)																																									
・本部追加繰入金	32,760千円																																										
前期末支払資金残高取崩	1,097千円	(前年度 1,157千円)																																									
		(前年度 50千円)																																									
	1,062千円	(前年度 1,207千円)																																									
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>利用者アンケートの実施等により、利用者からの意見・要望等を受け付ける機会を設けた。頂いたご意見やご要望には可能な限り対応し、サービスの向上、満足度の向上に努めた。</p> <p>具体例としては、けやき、うえみず共に、土曜日開業を前年度よりも回数を増やして実施したほか、利用者個々の事情に合わせて送迎の乗降場所や乗降時間の調整を適宜行い「通所しやすくなった」との多くのご意見をいただきました。</p> <p>なお、アンケートを通じていただいたご質問やご意見に対しては回答書を作成し、施設内で掲示を行った。</p>																																										
(8)その他																																											

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
<p>基本的なサービス提供を行うと共に利用者が主体となるような事業を実施します。</p>	<p>春光園けやきの生活介護事業、自立訓練(生活訓練)では、ご利用者の障害特性や程度に応じたグループ編成を行い、各グループの特色を生かした日常活動を提供した。</p> <p>外出活動や日中活動では、複数の企画を立案し、タブレット端末や写真カード、絵カード等を利用し、ご利用者が選択できるよう配慮し、意思や要望を確認してご参加いただいた。</p> <p>日常では、日々の連絡帳や電話によるご家族との情報交換や家族懇談会、そして年2回の個別面談等を通してより良いサービスが提供できるようニーズの把握に努めた。</p> <p>給食及び送迎サービスを滞りなく実施した。</p> <p>春光園うえみずの生活介護事業では、けやきで調理された給食を希望に沿って提供し、月1回、利用者からのリクエストメニューも実施することができた。</p> <p>送迎利用希望者については全員ドアツードア送迎を行い、送迎時間の希望がある場合は、できるだけ希望に沿うように時間調整を行った。</p> <p>連絡帳や送迎時の情報交換、アンケート、面談、年2回の家族懇談会などを通じ、本人だけではなく家族とも情報交換を行い、ニーズの把握に努めるとともに支援内容の改善につなげた。</p> <p>春光園けやきから看護師、理学療法士の派遣は月1回行われ、嘱託医健診も同席し、健康相談やリハビリ指導を実施した。</p>
<p>関係機関と連携 地域住民との交流を図り開かれ施設を目指します。</p>	<p>春光園けやきは相談事業において、見沼区役所で毎月開催される相談支援連絡会議に参加し、行政及び教育機関、近隣の事業所との情報交換を通じて、地域の関係機関との連携を構築することができた。</p> <p>計画相談では、ご利用者並びにご家族からサービスの利用状況やサービスに対する感想を面談で伺うとともに、定期的に事業所等に訪問してモニタリングを行った。サービスを円滑に利用していただくため、ご利用者の意向を反映した計画の作成を心掛け、各関係機関と情報交換や共有を行った。その他に、ご家庭の緊急な事情によっては行政と連携し、サービス支給変更の計画作成や事業所探しなど迅速に対応した。</p> <p>地域住民との交流機会として地区社協の協力のもと草刈りボランティアを募集し、グラウンド除草作業を実施するとともに、障害者施設の理解促進の場として広報に努めた。また、春岡フェスティバルや地区毎のアート作品展参加、施設見学会や実習生受け入れの積極的な実施を通して「開かれた施設」としての場を確保した。他にも、埼玉県南卸売団地及び、大宮北東ロータリークラブとの共催行事も実施し、地域との協力関係を深めることができた。</p> <p>春光園うえみずは生活介護事業で、小グループ編成の外出活動を実施し、地域の社会資源を活用しながら交流の場を設けた。</p> <p>相談事業においては、西区、大宮区、北区における相談支援会議に参加し、近隣の事業所との情報交換を行った。在宅ケースの相談を受け、地域の社会資源の利用につなげたり、新規通所につなげることもできた。</p> <p>計画相談では、地域の対象相談者や家族、関係機関との聞き取りや面談を通じて生活状況を聞き取り、生活場面の困りに応じて新たなサービス利用の相談に応じたり、家族の緊急時に応じて生活拠点の変更につなげるなど、個々の生活に応じた支援の取り組みを行った。また、将来のライフスタイルの変化の予測と、必要な支援の情報提供を行った。</p>

<p>一人ひとりの適正、状況、特性に応じた適切な支援を行うことで、社会生活の場を広げ、生活の質及び生きがいを高めていけるよう努めます。</p>	<p>春光園けやきの生活介護事業、自立訓練(生活訓練)では、事前に利用者の希望する園外体験活動の場を確認しながら、地域の農園で果物狩りや公園散策、買い物体験や外食体験を実施し、施設以外の場所での生きがいや生活の質を高める場を設けることができた。また、見沼区役所でのピアショッピング販売活動にも参加し、地域の方々との交流と利用者の社会生活の場を広げることができた。土曜・祝日開業でも、買い物体験や外食体験を実施し、一人ひとりの特性に応じた支援の場を設けた。</p> <p>春光園うえみずの生活介護事業では、個別面談や家族懇談会、アンケート調査等を通じて利用者・家族から要望を聞き取った。</p> <p>園外活動では、路線バスを利用した外出活動の実施や、送迎バスを利用しショッピングモールに出掛け買い物をしたり、お菓子工場の見学を実施し、ご利用者が楽しみ、様々な体験ができるように努めた。</p> <p>土曜日開業は、近所のコンビニエンスストアまで歩いて買い物に行くだけでなく、送迎バスを活用して外食に行くなど、社会体験を行える機会を作った。</p>
<p>地域の子どもたちとのつながり</p>	<p>春光園けやきにおいては、地域の中学校から「未来くるワーク」の実習生を年間4名受け入れ、福祉施設における職場体験の場を提供することができた。また、グラウンドの除草活動でも、地域の中学生を延べ90名受け入れ、地域交流と障害者施設の理解増進に努めた。</p> <p>春光園うえみずにおいては、隣接する佐知川放課後児童クラブと合同の防災訓練を、感染防止対策を徹底したうえで実施した。また、クリスマスや節分などの行事も一緒に行った。</p>

### 3 評価

#### (1) 指定管理者による評価

<p>春光園けやきにおいては、ご利用者の一人ひとりがその人らしく主体性を持った生活を送ることが出来るよう、ご利用者の意思を尊重した支援を実施した。日中活動や園外活動の内容に関してご自身で選択する機会を多く設けた。</p> <p>言語によるコミュニケーションが難しいご利用者の意思を確認する際には、絵カード、写真カード、タブレット端末を利用し視覚的に理解し意思の表出が図れるよう配慮した。</p> <p>新規利用者獲得のために施設紹介のパンフレットを特別支援学校に配布した。また、現場実習を積極的に受入れ、卒業後の進路先となるように努めた。</p> <p>春光園うえみずにおいては、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからも引き続き感染拡大防止に努め、年6回の調理活動も再開した。</p> <p>令和6年度の土曜日開業は、全部で5回実施し、利用者の余暇支援の充実及びご家族の休息支援のニーズに応える機会とした。</p> <p>虐待防止については、内部研修を実施したほか、法人主催の人権擁護・虐待防止研修に参加し、職場内で伝達研修を行った。併せて各職員が虐待防止チェックリストを実施し、虐待防止委員会で振り返りや考察を行った。</p> <p>施設の維持管理については、業者による設備点検や定期清掃、植木剪定に加え、職員による日常清掃を実施した。利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設の清潔保持や美化、事故防止、感染症予防に努めた。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民のサービス向上、利用促進」に対する評価

・利用者アンケートを実施した結果として、土曜日の開業日を昨年度より増加し、利用者の余暇支援の充実及びご家族の休息支援のニーズに応える機会とした。

・送迎利用希望者については、送迎車両の見直しを行い、全員ドアツードア送迎を行った。また送迎時間の希望がある場合は、できるだけ希望に沿うように時間調整も行った。

(2)「経費削減」に対する評価

・光熱水費の節約や、保守管理などの業務委託の効率化によるコスト削減に努めている点を評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・迅速な修繕を行い、利用者への影響を最小限にするよう努めている点や、老朽化による広範囲の修繕が必要なものに関しても市への情報共有を適切に行い、利用者が安心安全に利用できるようにしていた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、施設の稼働率と利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。